

政治・法律	【代表的な研究テーマ】
keyword	<input type="checkbox"/> 海外投資の保護に関する国際法 <input type="checkbox"/> 人権・環境保護と自由な経済活動の調和
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際経済法 ■ WTO ■ 海外投資保護 ■ 投資協定 ■ 自由貿易協定 ■ 投資協定仲裁 	課題解決に役立つシーズの説明
	<p>海外に投資する際に生じる法的諸問題についてお話することができます。</p> <p>国際経済法のうち海外投資の保護に関する分野</p> <p>最近日本でも環太平洋戦略的経済連携(TPP)が話題となっていますが、投資保護協定、自由貿易協定や経済連携協定などといった経済に関係する国際約束を今日世界各国は数多く結んでいます。それらの協定は海外に投資をする投資家の保護を定め、投資家と現地国家との間で紛争が生じた際の仲裁裁判手続きを定めているのが一般的です。私は、このような経済関係の協定とそれに基づく仲裁裁判の研究をしています。</p>
坂田 雅夫 Masao Sakata	<p>環境保護に関する国際法</p> <p>上記の経済関係の国際法の研究を進める上で、経済上の自由化を求める法(権利)と、環境保護や人権保護といったその他の権利・利益との関係に興味を持ちました。2009年に北海道大学に研究員として採用された際に、環境条約の国内実施を分析する研究に参加いたしました。それを契機として、環境に関する国際・国内の法秩序がどうなっているのか、そしてそれらの規定と経済関係の規定は、どのように調整されているのかについて分析しています。</p>
経済学部 准教授	<p>人権保護に関する国際法</p> <p>環境問題に関する国際法を学ぶ経緯と同様で、人権の保護に関する国際法と、経済関係の国際法が衝突した際に、どのように調整するのかという問題に興味を持ちました。人権保護といっても、ものすごく幅広い分野ですので、とりあえず北大勤務時に身近なテーマを取り上げてみようと考えて、アイヌの人たちのような先住民保護の法と、経済関係の国際法との調整について研究を始めました。これからは、ヨーロッパ人権裁判所などを取り上げて、経済的権利とその他の人権の関わりについて分析していきたいと思っています。</p>
【プロフィール】 【専門分野】 ・国際公法 ・国際経済法 ・国際投資法 【略歴】 ●1998年 同志社大学 法学部卒業 ●2009年 北海道大学 研究員・助教 ●2011年 同志社大学助教 ●2012年 滋賀大学准教授	企業・自治体へのメッセージ
	<p>トランプ政権により、国際経済は激しく動いています。海外に投資をする企業はどのようなことに注意をすれば良いのか、また海外から投資を受ける地域の自治体は何に気をつければ良いのか。こういった研究にご協力いただける企業自治体を探しています。</p>